金堂の　扉を叩く　木の芽風
高浜　虚子

久が原地区管内			
	人口	男	13,690人
		女	14,275人
		計	27,965人
	世帯		12,804世帯

平成26年3月1日現在

くがはら

発　行：地域力推進久が原地区委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085　大田区久が原4-12-10
TEL（３７５２）４２７１
FAX（３７５２）４５１４
題　字：三木兼吉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
勉強も部活もがんばろう中学生
仲よく元気にごあいさつ小学生

がんばれ！ピカピカの一年生

前久が原保育園園長　桑原　喜美子

一年生、おめでとう！

いよいよ希望と期待で胸いっぱいに小学校へ入学するのですね。思い起こせばまだ小さい頃のかわいい成長の瞬間が瞼（まぶた）に浮かんできます。早いものでもう小学生。これからはますます自分で考え、自分で行動しなくてはなりません。

私の好きなことわざに「七転び八起き」という言葉があります。お坊さんの説法には「生まれて一番最初に立った回数を入れ『八起』となっている。人は自分だけの力で生きているのではない。周りの助けがあって生きていけるという意味が込められている」とあります。失敗してもまた果敢に挑戦していきましょう。

みなさんはお父さんお母さん、先生、地域の方々に見守られ、支えられています。夢に向かってどんどん進め。心から「がんばれ！」と応援しています。

私の決意！
中学生になったなら

久原小学校卒　小原　永愛

私は久原小学校の合唱団や金管バンドクラブに入っています。色々な場所で演奏しました。金管楽器では四つの楽器を吹き、曲も演奏できるようになりました。

第二回小学生駅伝大会にも出場しました。朝練習ではタイムを縮める目標を立て、雨の日も皆で工夫し、色々な練習をしました。走っているのが楽しく、あっという間に時間が過ぎていきました。

いろいろなことを小学校で教わってきたため、中学生になっても、やりたいことがたくさんあります。これまでの経験を生かして、これからも、毎日頑張っていきたいです。

私の決意！
中学生になったなら

久原小学校卒　横田　雄大

四月からいよいよ中学生です。久原小に通っていた時とは違い、町をぬけ、電車に乗って通います。中学校がどんなところか、まだよくわかりません。不思議な感じですが、中学生になるのがとても楽しみです。今まであまりスポーツをしていなかったので、何かスポーツの部活動に入ってがんばりたいと思います。

それからぼくの行く中学校の生徒はいろいろな所から通って来ます。久が原の友達以外にもたくさんの友達を作りたいです。久が原の町も好きだけど、新しい友達と一緒に、その友達の住む町にも行ってみたいです。

私の決意！
中学生になったなら

松仙小学校卒　山口　美月

中学生になってがんばりたいことは部活です。小さいころから工作や絵、料理が大好きで小学校のクラブも工作クラブでした。中学校でも自分の得意なことの部活でがんばろうと思ったのが一つ目の理由です。

二つ目は、中学校の部活は小学校のクラブとはちがいます。私にとって部活やクラブは、友達を増やす場所です。中学校でも友達を少しでも増やすために部活をがんばりたいと思います。

中学校は小学校とはちがい世界が広くなります。中学校の部活を早く見てみたいです。

私の決意！
中学生になったなら

松仙小学校卒　日永田育夫

中学生になったらやりたいことは、外国語の学習などによる国際的な人材になることだ。理由は二つある。まず、自分が入学する中学校は「国際的な人材の育成」に力を注いでいるからだ。自分の目標もこの学校に合格したことで自然とこのような形になった。

もう一つの理由として、自分はジュニアリーダーなどの講習にとても多く参加しているということが挙げられる。リーダーシップや人との協調性、それらの力を養ったことによって、より目標を後押しするきっかけとなった。

これから、自分の目標に向け、日々まい進したいと思った。

〈連載〉久が原のものづくり①
パーツフィーダ製作の信和パーツ㈱

(1)おもに何を製作されているのですか？

▼パーツフィーダのアタッチメント

パーツフィーダとは多くの業種（弱電・自動車・薬品や食品の容器・文具類等）の工場で使用される製品で、人手によらずいろいろな部品を一定姿勢に整える供給装置で、ロボットの補助や検査・組立に使用されています。

アタッチメント製作は1台づつ丸いボウルのトラック上にほとんど図面無しの手造りで部品を「顧客の要求する姿勢」並びに「一分間に整送する個数」を技能者が考えながら製作するものです。

同じオーダーはほとんどなく、図面なしの手作りなのでマニュアル化はできず、一人ひとりの技術力が試されるきびしい仕事です。

(2)なぜ、久が原地区に会社（事業所・店舗）を構え、拠点としているのですか？

▼創業者が独立した時にこの地（久が原五丁目）にたまたま貸工場があったからですが、今は自社工場です。この地域には製品製作に必要な外注先がたくさんあり、また第二京浜国道があるので納品にも便利です。

(3)ものづくりへの思いをお聞かせ下さい。

▼昭和32（１９５７）年の創業以来多くのお客様より高い評価を頂き、今日まで努力を重ねてきました。このたび、平成25年度の大田区『優工場』に認定されましたことは大変名誉なことであり、従業員一同これからも今まで培った技術をさらに磨き、お客様の信頼に応えたご満足頂ける製品を製作していく所存です。

〈代表取締役社長・高島田政紀さん〉

観察心をもって歩こう④
映画『大自然の片隅』から

篠澤　淳恵

昭和30年代のウォルト＝ディズニー映画に『大自然の片隅』という短編がありました。身近な動植物、昆虫の不思議を子供でも理解できる解説と映像で開花の様子や、アリ、チョウの生態を紹介して見せてくれました。自然観察の面白さや楽しさを与えてくれたのがこの映画でした。

子供の頃にこの様な映画とめぐりあって見たことはとても良かったと思います。興味を持つ感性が作られる時に良い情報を与えられることが重要です。

早春を過ぎ、桜の季節です。日差しの暖かさと気温が上がると越冬していた虫たちが活動を始めます。四月も中旬になると越冬したチョウのサナギが羽化する季節です。植物も鮮やかな新芽を伸ばしています。

梅にウグイスではなく、メジロの姿も久が原で見ることができます。昨年の夏に知り合いの人から、家族の女性がアゲハの幼虫がサナギになる時の準備段階をじっくり観察できて、とても感動したという話を聞きました。身近でも少しの注意と視線を向けるとこんな感動を味わうことができます。動植物、鳥、昆虫、天体、対象はいろいろですが子供と一緒に、家族一緒でも、興味を持って何かを探してみませんか？自分で探して発見して気が付いた物事は人から言われて見ることと違い小さな事でも大きな感動になります。

好奇心を持ち、観察心を育て感動を得ることは将来第二のiPSの発見に繋がるかもしれません。

イベント情報

■道々橋自治会新入学児童祈願祭
【日時】4月6日(日) 10：00～
【場所】道々橋八幡神社

■子どもガーデンパーティー
【日時】4月20日(日) 10：00～
【場所】洗足池公園

■久が原西自治会定期総会
【日時】4月25日(金) 19：00～
【場所】久が原会館

■久が原東自治会定期総会
【日時】5月9日(金) 19：00～
【場所】久が原特別出張所集会室

■道々橋自治会定時総会
【日時】5月10日(土) 18：00～
【場所】道々橋八幡神社社務所

■久が原南自治会定期総会
【日時】5月11日(日) 10：00～
【場所】久が原南自治会会館

問合せ先
(3752) 4271　久が原特別出張所

〈連載〉久が原の自然①
ツツジは長寿の木

4～5月にかけて、久が原3丁目のとあるお宅で見られるキリシマツツジ(霧島躑躅)はとても見事です。

南に面したお庭に、高さ約2・5mの木の枝いっぱいに橙赤色の花が咲きます。

お家の方のお話によると、この木はこちらに引越して来られた時には、すでにその場所に植えられており、以来60年余りお庭の一角で暮らしを共にして来られたそうです。

ツツジは長寿の木と知られ、街路樹や庭木、垣根、盆栽などに用いられることが多く、切り花や生け花にも使われることもあり、親しみ深い木と言えます。

キリシマツツジは江戸中期に薩摩で作られ京都を通って江戸に広がったと言われています。満開の桜のその後で、今がこの時と鮮やかな新緑の季節を彩ります。

《ちょっと豆知識》

よく分からないのがツツジとサツキの違い。サツキと呼ばれているのは、実はツツジの一種で「サツキツツジ」を省略した名前です。4月中旬から5月上旬に咲くのがツツジ全般、5月中旬から6月中旬に咲くのがサツキ。

旧暦の皐月・五月に咲くことから命名されたとか。また、よく見かける赤紫色の大輪の花はオオムラサキツツジです。

(富田　永美)

お知らせ

久原小学校PTA音楽部
(合唱団&管弦楽団)による
～スプリングコンサート～

○日時　5月11日(日)
　開演10時
○会場　久原小体育館
○演奏曲　「流浪の民」「アイネクライネナハトムジーク第一楽章」「七つの子」他
○入場無料
＊上履きをお持ちください

〈連載〉久が原のゆかり⑦
幼い命をしのぶハマヨ地蔵

小原　洪一

地下鉄西馬込駅から第二京浜国道(現国道1号線)を南に下り馬込中学、ガソリンスタンドを過ぎた先の道かど(仲池上2―7)にひっそりと小さなお地蔵様がありません。石碑の名前を見てみるとハマヨ地蔵とあります。

昭和11(1936)年10月に着工した国道工事は昭和15年に予定された東京オリンピック(今では幻)開催に合わせて進められました。道幅25メートル、高速車線(自動車用)、緩速車線(荷車・自転車用)、歩道(地下に電気その他の施設を埋没)を配置した近代的道路として設計され、松原橋の立体交差を始め道路をまたぐ電線や構造物を一切設けない(必要な場合、航空機の滑走路として使用するため、ただし実現はしていない)という海外に対して国威発揮を目的としたと想像されます。

現在の池上警察署北側は「千本松」といわれ水田への水源としての溜池が散在しており、この埋め立てに馬込の山を削りトロッコで土砂を運びました。好奇心溢れる子供たちにとっては格好の遊び場でした。しかし工事の最中、トロッコにひかれ昭和12年1月24日に一人の女の子が幼い命を亡くしました。二度と事故が起こらないよう願いをこめて工事関係者によって被災された綱島さんの一隅に建立されたのが冒頭に紹介したお地蔵様です。機会がありましたら交通安全を願い、お参りください。

〈連載〉ほんの少しの心遣い①
高齢者に気配りを

猛暑の中、高齢のご夫婦が熱中症でなくなっていたというニュースが報道されると、なぜエアコンをつけたり、水を飲んだりしないのかしらと疑問に思います。足腰が思うように動かないほどの高齢になるということは、こうした何げない日常のことでさえ面倒に感じ、つい動かないで我慢してしまうものなのです。

ペットボトルのお茶を飲もうとして、握力がなくてふたが開けられないという訴えを聞いて、驚いたことがあります。高齢者の要望で多いのは重いものを動かしたい、部屋を掃除したい、買い物をしてもらいたい、切れた電球を取り替えたいなどなど。こうした小さなお困りごとのお助けボランティア活動が全国各地で展開されていますが、私たち地域に住む一人ひとりが高齢者にもっと気を配るべきだと思います。恥ずかしがらず、勇気を出して、「ほんの少しの心遣い」を始めてみましょう。

(雀木　太熊)

編集後記

4月は進級・進学・入社など、新しくスタートする場面が多くみられます。情報紙でも三つの新シリーズが始まりました。この時期は季節の変わり目でもありますので体調を整え、豊かな『久が原の自然』に力をもらいながら、創造的な『ものづくり』の発想で、キモチ新たな年度始めとしたいですね。

今号より編集長が交代しました。今後も編集委員一同、紙面作りに力を注いで参ります。

どうぞよろしくお願いします。

(富田　永美)